

地方職員共済組合 女性の活躍推進に関する行動計画

女性が活躍できる雇用環境の整備を行うため、次のように行動計画を策定する。

- 1 計画期間：令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
- 2 当組合の課題
 - ・平均継続勤務年数の男女差が職員で2年程度の差（女性17.9年 男性20.0年）が見られる。
 - ・現時点においては、管理職に占める女性の割合が相対的に低い。
- 3 定量的目標
 - ・女性職員の平均勤務年数について20年以上を目指す。
 - ・管理職に占める女性の割合について14%以上を目指す。
- 4 取組内容
 - 令和3年4月～
 - 仕事と育児休業等の両立支援の推進
 - ・職員等への育児時間、育児休業、介護休業等の両立支援制度に関する周知
 - ・育児休業者、介護休業者等への円滑な職場復帰に向けた職務等に関する情報提供
 - ・仕事と子育て等の両立に配慮した人事配置
 - 女性のキャリア形成の支援
 - ・多様な経験を積むための積極的な人事配置
 - ・より高度な知識・スキル等を身につけるための研修の実施
 - 女性の活躍を支えるための職場風土の醸成
 - ・講演会、研修等を通じた女性の活躍を理解・支援する職場風土の醸成
 - ・女性が活躍できる職場であることについての求職者に向けた積極的広報
 - ・男女がともに職場と家庭の両方において貢献できる職場風土の醸成に向けた意識啓発

女性の活躍の現状に関する情報（令和5年度実績）

① 採用者に占める女性の割合	正規職員	78.3%
	非正規職員	91.5%
② 平均継続勤務年数の男女差	正規職員	86.1%
	非正規職員	84.1%
③ 管理職（課長級以上）に占める女性の割合	正規職員	15.4%
	非正規職員	—
④ 男女の賃金の差異 （男性の賃金に対する女性の賃金の割合）	全職員	62.0%
	正規職員	88.8%
	非正規職員	62.8%